

# おおま

岬の光

No.

102

令和元年8月1日発行

議会だより



令和元年5月11日

大間町消防団定期観閲式分列行進

## 主な内容 6月定例議会

○新議長挨拶・議会組織

P 2

○令和元年 第2回定例会(6月定例会)

P 3

○2議員が一般質問

P 4~5

○公共特別委員会・令和元年 第2回臨時会

P 6

○報告(県下町村議会議員研修会)

P 7

○報告(議会広報研修会)・編集後記

P 8

# 新議長あいさつ

## く郡・県町村議会議長会 会長就任く



石戸 秀雄  
議長

5月7日開催の大間町議会臨時会において、第25代議長の要職に就任いたしました。

また、5月21日開催の下北郡町村議会議長会臨時総会において、6月1日より郡町村議会議長会会長就任が決定。

さらに、6月6日開催の青森県町村議会議長会臨時総会において、第47代会長に選任されました。ともに、職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

県議長会会長となり2ヶ月が過ぎようとしています。

会長職と併せ、次のような役割も担うこととなりました。

- 北海道・東北町村議会議長会副会長
- 全国町村議会議長会監事
- 全国過疎自立促進連盟理事
- 青森県市町村振興協会評議員
- 青森県都市計画審議会委員
- 青森県高規格道路建設促進期成会監事
- 青森県鉄道整備促進期成会理事
- 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員
- 青森空港振興会議理事

● 青森県北方領土返還促進協議会副会長

● 社会を明るくする運動青森県実施委員会委員

● 青森県防犯協会連合会顧問

県議長会事務局から、出来るだけ優先し努めて下さい、と言われています。町民皆様と議員各位にはご迷惑をおかけすると思いますが、無事努めることが大間町の将来の発展に繋がると信じて頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

### 議会組織

議長 石戸 秀雄  
副議長 岩泉 盛利  
事務局長 山崎 一利  
議事係長 岩瀬久美子

#### 各委員会

◎委員長 ○副委員長

#### 議会運営委員会

◎ 佐々木信彦  
○ 岩泉 盛利

吉田 安男  
千代谷 誠  
野崎 信行  
正根 秋雄

#### 総務教育常任委員会

◎ 千代谷 誠  
○ 竹内 勝雄

吉田 安男  
堺 祐介  
石戸 秀雄

#### 産業民生常任委員会

◎ 野崎 信行  
○ 正根 秋雄

佐々木信彦  
宮野 昭一  
岩泉 盛利

#### 大間原子力発電所対策特別委員会

◎ 正根 秋雄  
○ 吉田 安男

佐々木信彦  
千代谷 誠  
堺 祐介

野崎 信行  
竹内 勝雄  
宮野 昭一  
岩泉 盛利  
石戸 秀雄

#### 大間町公共施設配置計画策定・建設特別委員会

◎ 岩泉 盛利  
○ 正根 秋雄

吉田 安男  
千代谷 誠  
佐々木信彦

堺 祐介  
野崎 信行  
竹内 勝雄  
宮野 昭一  
石戸 秀雄

#### 大間・函館フェリー航路対策特別委員会

◎ 正根 秋雄  
○ 岩泉 盛利

#### 議会選出

##### 大間町監査委員

##### 国保運営協議会

正根 秋雄  
岩泉 盛利

##### 一部事務組合下北医療センター議会議員

正根 秋雄  
岩泉 盛利

##### 下北地域広域行政事務組合議会議員

千代谷 誠  
竹内 勝雄

大間町議会広報編集委員会は、最終頁に記載しております。

# 第2回 6月定例会

令和元年6月11日開会し、6月13日閉会しました。

本議会に提案された議案7件は、すべて原案どおり可決しました。

## 令和元年度 補正予算

### 一般会計

歳入歳出それぞれ5110万円追加し、予算総額を44億7648万円とした。

### 歳入の主なるもの

#### 国庫支出金

- 自立支援医療給付費負担金250万円。
- プレミアム付商品券事業補助金199万円。
- 子ども・子育て支援事業費補助金291万円。

#### 県支出金

- 自立支援医療給付費負担金125万円。

#### 繰入金

- 財政調整基金繰入金500万円。

### 歳出の主なるもの

#### 民生費

- 水産振興基金繰入金3700万円取崩し。
- プレミアム商品券システム導入委託料154万円。
- 障害者自立支援医療給付費500万円。
- 子ども・子育て支援システム改修委託料286万円。

#### 農林水産業費

- 水産振興事業費補助金3700万円。

#### 土木費

- 港湾浚渫事業負担金240万円。

#### 予備費

- 財源調整し、218万円追加。

### 国民健康保険 特別会計

歳出の組替え補正で、保険事業費で臨時職員賃金32万円を追加し、予備費で32万円を減額計上。

### 下水道事業 特別会計

歳入歳出それぞれ58万円減額し、予算総額を2億2691万円とした。

歳入では一般会計繰入金58万円を減額、歳出では公共下水道費、職員人件費で58万円を減額計上。

### 水道事業会計

収益的収入及び支出の補正で、営業費用で85万円減額、特別損失で8万円を追加し、収益的支出の総額を1億4795万円とした。

### 財産の取得

#### 採択

○新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出

○国連各委員会の「沖縄県民を先住民族と認めて保護するべき」との勧告の撤回を求める意見書の提出

#### 委員会付託

○辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の提出

○米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書の提出

#### 1 契約の目的

大間町役場業務用ノートパソコン

#### 2 契約の方法

指名競争入札

#### 3 契約の金額

917万円

#### 4 契約の相手

むつ市大湊浜町14番9号株式会社 村井商店 代表取締役 村井利嗣

#### 1 契約の目的

クリーンセンターバックホウ購入

#### 2 契約の方法

指名競争入札

#### 3 契約の金額

1274万円

#### 4 契約の相手

むつ市大曲3丁目101-1 日本キャタピラー合同会社むつ営業所 所長 小野透



# 一般質問



野崎 信行 議員

質問時間 60分

## 問四

東北電力から電力を購入するのではなく、全国に50社ある安い電力会社から買うべきである。

### 町長答弁

検討しながら活用できるものはしてまいりたいと考えております。

## 問五

平川市と黒石署と協定を締結、ドライブレコーダー記録データを活用し、住民の安全・安心に繋げている。町もすべきである。

### 町長答弁

いつでも活用可能となっております。

## 問六

東北電力は東通村に対し、企業版ふるさと納税制度を活用した寄付を申し出た。2年間で4億円とみられ、原発工事遅延に関する財政支援と思われる。町

ももらうべきである。

### 町長答弁

調査検討していくこととしています。

## 問七

「遊休資産の活用公募」について、使っていない学校・役場の土地などを民間企業に活用してもらうため、アイデアを募集すべきである。

### 町長答弁

前向きに検討してまいります。

## 問八

原子力発電所を所有する電力会社11社は、原発の新規制基準で義務化されているテロ対策施設の基準が決められた。何が追加になったのか教えてもらいたい。

### 町長答弁

お答えする立場にございませんので、ご了承をいただきます。

## 問九

「全国クロマグロ漁師サミット」が大間町で開催され、400人が集まった。毎年大間町で開催すべきである。

### 町長答弁

困難でなかるうかと思いません。

## 問十

「大間崎」ライブカメラを設置すべきである。

### 町長答弁

必要性や維持管理などを調査し、検討してまいりたいと思います。

## 問十一

西日屋村では高校3年までの医療費は無料である。大間町でも無料にすべきである。

### 町長答弁

高校3年生までの無料化については、今後の課題とさせていただきます。

## 問十二

5年後、指定管理者のフェリー運営は、入札が行われる。日本人みんなが利用するフェリーに対し、大間町だけが金を出しているのはおかしい。下北公益事業として運営すべきである。現状毎年1億円の赤字、過疎債返済が5000万円あり、町が負担している。過疎債は別の使い道を考えるべきである。

### 町長答弁

5年後の新たな指定管理に向けて、精力的に折衝を続けてまいります。

14の質問の中から12を掲載いたしました。

## 問一

自治体による「ゴミ出し支援」モデル事業について、応募し積極的に事業を展開すべきである。

### 町長答弁

今後も調査研究しながら続けてまいりたいと考えております。

## 問二

佐井村整形診療所「さいクリニック」コミュニティバス100円を運行させ、町民の利便性を図るべきである。

### 町長答弁

加盟することは困難と思います。

## 問三

診療所に向けたコミュニティバスの運行は現時点では考えてございません。

### 町長答弁

「県海洋再生可能エネルギーギ一発電事業（有望区域）連絡会」にも加盟すべきである。

加盟することは困難と思います。

# 一般質問



吉田 安男 議員

質問時間 30分

## 町長の政治姿勢について

**問一** 町長は就任以来「のびのび、生き生き、悠々」と暮らせる町づくりをキャッチフレーズとして町政運営にあたってきたと思っております。町長として、就任してから4期半ばを過ぎ、15年目に入っているとありますが、町民は町長が言っている「のびのび、生き生き、悠々」とした生活をしているのでしょうか。私にはそのように見えません。いつになったら悠々とした生活ができるのでしょうか。町長の自己評価として、達成率は何%ぐらいと思われるのかお知らせいただきたい。また、町長の町づくりの基本理念を達成する施策として、どのような

施策を考え、どのように実施していくのかお知らせ願いたい。

**町長答弁** 「のびのび、生き生き、悠々」は基本理念であり、限られた期間の中で完結するものではないと私は捉えています。厳しい財政化のもとでありましたが、各施設整備等、ソフト事業に係る費用等を考えますと、概ね70%ぐらいはできているのではないかと考えております。また、今まで実施してきた中で、例えば特定健診の無料化等については、受診率が延びてきているし、ナマコの種苗については、生産が上がり水揚げも上がってきている。子供たちの教育環境を整えるという意味では、校舎の改築、グラウンド整備、幼稚園・保育所等の新設など

があり、町単独での臨時講師の配置、きめ細やかな子育て支援、特定健診の無料化等は更に効果的なものにしていく努力をしていきたい。また、新たな取り組みとして、旧役場・病院跡地を利用して、保健・福祉を主にした複合施設の建設、その周辺には小公園という形で、緑地帯等の整備をしていきたいと考えている。今、人口減少・少子化の時代で、祭りという伝承芸能を守っていくということも非常に大事なことであり、助成の支援拡大等を含めた検討を進めてまいりたい。

**再質問** 確かにこの問題については幅が広く奥が深いと思っております。例えば今般、奥戸地区においては唯一軒ある商店が店じまいしたということですが、高齢化が進む中での買い物弱者対策をこれから考えていかなければならない。町民が今、どのような生活をしているか、町の中を見つめて頂きたい。そうした事が町長の施策に色々と絡んでくるものですか、今後その辺を考えた施策を行って頂きたい。

**町長答弁** 町民皆さんの意見を取り入れながら、情報を多く収集し共有し、自ら対話を重ねながら、町民が幸せを実感できるという政策を展開していくよう、これからも努めてまいりたい。お力を貸して頂くよう

お願い申し上げたい。

**再質問** 景気状況も良くなく、税金を納めたくても納める金がないという漁師さんの話しを聞いています。何回も言うようですが、今一度、町の中を見つめ直して頂きたい。奥戸地域の買い物弱者対策であります。不便を生じている声も聞いています。奥戸地域の方々が大間へ買い物に行く手立てを考えて頂けないでしょうか。

**町長答弁** そういう時代が到来していることを認識している。社会福祉協議会との事業の中で、対応、町がそれにとのよう支援できるか検討してまいりたい。

**問一** 町長は、町が豊かになるには、地域産業の活性化が重要であると言っておりますが、「大間町漁業振興協議会」の位置付けと構成メンバー、さらに豊かな海の再生に向けた実施施策をお知らせ願いたい。

## 漁業振興策について

前浜のことを考えれば、自然相手の漁業の行き詰まりにきている。漁場を回復していくために、雑草駆除等の事業を展開しているが、管理型漁業と養殖事業が可能なか、検討研究して頂ければと考えている。

**再質問** 町長は海の再生に努力すると言っています。例えば県の水産実務経験のある専門職員を派遣してもらおうとか、町で実務経験のある方を採用するとか、更にはJ-Pにも実務経験者がいると思うので派遣してもらおうとか、色んな方策を考えなければ、自然現象に打ち勝てないと思うので、そのような考えはないか。

**町長答弁** 漁業の専門家というところについては、ずっと考えてきている。専門家と言っても色んな漁業種類がある中で、焦点をどこに絞るかということもある。漁業振興を専門的に対応できる職員の育成、若しくは採用という事も考えていきたい。

**再質問** ツルアラメ、モズクなどの付加価値をつけるとあるが、ツルアラメは原料が豊富であるがモズクは貴重品となっている。付加価値よりもモズクの場合は原料のモズクの再生が必要でないかと考えるがいかがか。

り安定していかないという状況にある。海の再生も踏まえながら付加価値を付けて高く買って頂くという研究も進めていければと思っております。

**再質問** マグロ漁獲規制の件であります。漁業者から町議会に意見書とかを出してもらい、県国へ町から要望するとか、組合に知識を与えていいのではないかと。町としてどのような関わりをしてきたのか、また今後、町としてどのような考えかお聞かせ願いたい。

**町長答弁** 町おこしにとつて大事な位置付けであるマグロであります。私自身も水産庁、県選出国会議員、県等に対しても漁獲枠の見直しを要望してきた。今後のこととして町、議会、組合が一体となって、国県に対して要望していきたいという考えを持っている。それを具体化させるべく協議をさっそく始めたいと考えている。

**再質問** ありがとうございます。私は現在漁師のはしくれではありますが、その中で漁業者の暮らしは大変なんだと痛切に感じております。よって、町長には漁業振興策について十分な考え方を持って施策を講じて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

# 報 告

令和元年6月26日

# 大間町公共施設配置計画 策定・建設特別委員会

## 大間消防署庁舎 建設予定地について

○町長から、老朽化した消防庁舎施設建設（2、150㎡程度）を計画しており、大間警察署に隣接する場所（5、000㎡）で出来るだけ早く決定していただきたいと挨拶。

○総務課長からは、平成30年12月6日に開催された特別委員会で意見があったオフサイトセンター建設候補地や大間警察署移転候補地の検討結果の説明がなされた。

○委員の皆さんからは、消防署庁舎の建設位置や、背後の土地が有効利用できる道幅などの意見が出され、それらについては今後検討していくこととし、建設予

定地については意識は無いということでは決定した。  
○救急車や、消防車輛のサイレン音の聞こえ方については、早い時期に実施するように検討していくことにした。



現在の消防庁舎

令和元年7月5日の臨時議会終了後に公共施設配置計画策定・建設特別委員会が開催され、新消防署庁舎予定地に係る緊急車輛サイ

レン音の聞こえ方について現地視察を行い、大間病院外来受付付近と、入院棟食堂の2カ所で体験した。  
サイレンは、救急車1台、消防車輛2台同時に20秒ほどの体験をし、その後、特養くろまつに移動、施設内で病院同様の体験をした。  
委員の皆さんからは意見がなく、病院の事務局長やくろまつ施設長からは「いつも救急車のサイレン音を聞いているので気にならない」とのコメントを受け、現地解散した。



現地体験の様子

令和元年7月5日

## 令和元年第二回 大間町議会臨時議会

全議案  
可決

### 一、議案第27号

工事請負契約の締結について  
（大間崎第二駐車場整備工事）

1. 契約方法  
指名競争入札
2. 予定価格（税込み）  
62,194,000円
3. 指名業者  
大間町管内5業者
4. 契約業者  
野崎建設工業(株)
4. 契約金額（税込み）  
60,500,000円  
(97・27%)

### 二、議案第28号

工事請負契約の締結について  
（大間町地区材木漁港施設機能強化工事）

1. 契約方法  
指名競争入札
2. 予定価格（税込み）  
90,200,000円
3. 指名業者  
大間町管内5業者
4. 契約業者  
大見海事工業(株)
5. 契約金額（税込み）  
85,800,000円  
(95・12%)

### 三、議案第1号

大間、函館フェリー航路対策特別委員会設置について

○提出者 岩泉盛利  
「大函丸が就航し早6年、令和6年には指定管理期間が終了する将来を見据え、調査検討するため全議員で組織する特別委員会を設置」  
◎組織会（指名選任）  
委員長 正根秋雄  
副委員長 岩泉盛利

【事業名】  
大間崎第二駐車場整備事業

【工期】  
令和元年7月5日  
令和2年3月20日

台数  
普通車 70台  
身障車用 2台



第二駐車場整備予定地



# 報告

## 県下町村議会議員研修会

主催 青森県町村議会議長会



政治アナリスト 伊藤惇夫氏

令和元年7月10日、青森市リンクモア平安閣市民ホールにおいて、県町村議会議長会主催による県下町村議会議員研修会が開催されました。

講師には、今後の政局政治展望と題し、政治アナリストの伊藤惇夫氏（「とくダネ」「報道2001」「スパイモーニング」「ひるおび」等、テレビ番組にも多数出演）を迎えての講演でした。

伊藤氏の講演後「青森県型地域共生社会の実現に向けて」と題し、青森県健康福祉部神登喜彦次長より講演がありました。

高齢者をテーマにした題材と感じ、大間町も年々人口が減り、他人事ではありません。高齢化社会に向けて、どんな事をしなければならぬか考えなければならぬ時期に來ています。

人に頼らない老後を送るには、

自分自身が健康でなければなりません。一人で出ようとするのを迎える為にも、健康に留意し頑張りたいたいものです。

(記) 竹内



石戸会長 開会の挨拶



# 報告

## 町村議会広報研修会

主催 青森県町村議会議長会



講師 長岡光弘氏

### 広報紙制作のスキルポイント

なが おか みつ ひろ  
講師 長岡光弘氏  
(グラフィックデザイナー)

令和元年5月22日、青森県労働福祉会館において、県町村議会議長会主催による町村議会広報研修会が行われました。

石戸議長をはじめ、広報編集委員6名が参加し研修を受けてきました。

今年のテーマは、「広報紙制作のスキルポイント」です。

研修で学んだことを基に、色使いや文字を工夫して、町民の皆様が読みやすい・見やすい・解りやすい議会広報紙を作成し、議会報告を行っていきますので、何卒宜しくお願い致します。

(記)堺



### 編集後記

去る4月に行われた大間町議会議員選挙で、新人2名を含む10名が選ばれました。

私たち新人議員も先輩議員の指導の基、議員活動に邁進するとともに、町民皆様が安心・安全に暮らせる町づくりを励んでまいります。

8月にはマグロ、イカ、コンブ漁の最盛期となり、町も活気付き、お祭り、お盆、ブルーマリンフェスティバル等、家族団欒の場も増えてくると思います。大間の短い夏を皆さんでエンジョイしながら有意義に過ごしましょう。

(記)吉田

議会広報編集委員

委員長

吉田 安男

副委員長

佐々木 信彦

委員

堺 祐介

野崎 信行

竹内 勝雄

岩泉 盛利